

基本方針	導入する機能の方向性	第2回検討委員会 意見	第2回地域協議会 意見	再編コンセプト
「地域独自の魅力を活かした特徴あるまち」の拠点	豊かなみどりを感じる街並みの形成	<ul style="list-style-type: none"> 駅前通りの景観は唯一無二の資源 居住環境の質等の魅力を計画の中で評価し、維持していくと良い 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の高さの検討には、自然豊かな景観への配慮が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●みどりを感ずる街並みの形成 ●良好な住環境としての魅力の周辺への波及 ●駅前にふさわしい公共空間の充実 ●南区各地域の魅力発信 ●滞留・交流の拠点 ●南区の各地域へ向かう来街者の利便を支える玄関口 ●スマートコミュニティのモデル地区の形成
	駅前にふさわしい公共空間の充実	<ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力は生活者の視点と利用者では別の視点だと思われる 	<ul style="list-style-type: none"> 滞留できる広場や、雨天時にもにぎわいを生む屋内型の広場 南区の環境・文化・歴史資源の魅力を発信する場 真駒内で情報を得た人が南区各地へ足を運ぶ人の流れをつくる。 通学で駅を利用する学生が集える場所があると、コミュニティが活性化する。 多世代が集まれる施設があると、交流が活発になり、町内会活動の活性化にもつながる。 	
	スマートコミュニティのモデル地区の形成	<ul style="list-style-type: none"> バス運行情報のオープンソース化 	—	
「人が新たに流入する持続可能なまち」の拠点	子育てしやすい環境を実現	<ul style="list-style-type: none"> ベビーカーを使う子育て世代にもやさしい歩行環境 将来的な人口の年齢構成も見据えた検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 全天候型の遊び場が将来的な移住・定住につながる 	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て世代を中心に多様な世代に向けた住環境としての魅力創出 ●民間活力の導入（その他、次頁上段参照）
	民間活力の導入	<ul style="list-style-type: none"> 駅に直結した商業施設が南区民の願い 	<ul style="list-style-type: none"> 交通施設との一体的な検討が必要 バスを待つ人が滞留できるカフェなどがあると若い人が集まり活気が生まれる。 買い物のあると活気があるまちになる。 	
	駅前にふさわしい公共空間の充実（再掲）	（再掲のため略）	（再掲のため略）	
「歩いて暮らせるまち」の拠点	行政・公共サービス機能を駅に近づけて配置	<ul style="list-style-type: none"> 駅や商業施設に直結した公共施設があれば人は集まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政機能を駅前に設けると、駅前以外の周遊が減ることが懸念されるため配慮が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ●にぎわいの軸 ●快適で安心・安全な歩行者ネットワーク（その他、次頁上段参照） ●交通結節機能の再編 ●南区の各地域へ向かう来街者の利便を支える玄関口（再掲）（その他、次頁上段参照）
	民間活力の導入（再掲）	（再掲のため略）	（再掲のため略）	
	歩行者ネットワークの創出	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通を使えば自家用車がなくても暮らせるように ベビーカーを使う子育て世代にもやさしい歩行環境（再掲） 時間を有効に使える機能的かつ高効率なまち 駅の構造も考慮し駅前を人優先した場所にしていくことも考えると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩いて楽しいまちという特徴を活かす（再掲） 歩行者動線に配慮し、賑わいを生み出す。 冬でも歩きやすい歩道を維持 行政機能を駅前に設けると、駅前以外の周遊が減ることが懸念されるため配慮が必要。（再掲） 駅前だけでなく、にぎわいが広がり、点在すると良い。 	
	交通結節機能の再編	<ul style="list-style-type: none"> 将来的な人口年齢構成も見据えた検討が必要（再掲） 公共交通を使えば自家用車がなくても暮らせるように（再掲） 駅前で、バス、タクシー、自家用車のアクセス性が向上すれば人の滞留につながる。 	<ul style="list-style-type: none"> バスを待つ人が滞留できるカフェなどがあると若い人が集まり活気が生まれる。（再掲） バス待ち環境の改善 地下鉄とバス、駐輪場つなぐ歩行空間 駅前に停車スペースや駐輪場 民間施設との一体的な検討が必要 通学で駅を利用する学生が集える場所があると、コミュニティが活性化する。（再掲） 	

※赤文字：各機能相互間の関係性に関する意見、緑文字：駅前から周辺への波及に関する意見、青文字：駅と駅前地区の関係性に関する意見 } 総合的視点として検討・・・次頁上段

駅前再編コンセプトの検討

総合的視点での検討

赤文字部分の整理

- ◆ 「生活利便機能（民活）」「交通結節機能」「行政・公共サービス機能」相互間の関係性に関する意見。
- ◆ 各機能の相互間で人の流れ生み、にぎわいや交流を相乗的に創出させていくことを目指す意見と整理される。
- ◆ これを支えるのが「快適で安心・安全な歩行者ネットワーク」。

一体として

各都市機能の集積による生活利便の向上

更に

緑文字部分の整理

- ◆ にぎわいや交流を駅前地区だけでなく、周辺にも波及させていくべきとする意見。

青文字部分も踏まえ、大きな流れとして

駅から人の誘導 ⇒ 駅前地区のにぎわい・交流 ⇒ 周辺への波及

特に商業機能は、人の誘導やにぎわいの創出に資するよう駅や駅前通と密接な関係を構築

第2回地域協議会における主な意見で前表に未反映のもの

<キーワード>人が集まる場（広場）

- 持続的な運営を行うため、運営主体や資金調達の方法など運営の仕組みづくりが必要

<キーワード>子供の遊び場

- 全天候型の遊び場は多額の事業費がかかるため、コスト面での検討が必要。

<キーワード>南区の魅力発信の場

- 真駒内、南区など全体で連携する仕組みや体制づくりが必要。

<キーワード>コミュニティ空間

- 計画段階から使われ方を工夫するなど、施設の魅力を高めることが必要。

<キーワード>持続的なまちづくりを支える仕組み

- ニーズを把握し、魅力的に変化し続けることが出来るまちづくり組織があると良い。
- まちづくりを担う人材育成、人材発掘が必要。

第2回検討委員会における主な意見で前表に未反映のもの

<議題1> 基本方針・導入する機能の方向性について

- 「真駒内のあの景観が良い」など、真駒内らしいキーワードが入ってくると良いのではないかな。
- 大きなハードに関しては30年くらいの長期スパンを持ちながら、5年や10年の間で変えても良い部分についてどう考えるか、計画の進捗の中で管理していく必要があるのではないかな。
- 官民連携 PPP 等、民間事業者の活力をどう活用するか考える必要がある。サウンディング調査を行うと検討の精度を高めることが出来るのではないかな。

<議題2> 駅前地区における交通結節機能について

- （「バス」、「タクシー」、「歩行者動線」、「駐輪場」に関する課題等）

今後の考え方

ハード整備の内容は、常にコスト面を考慮しながら検討

ハード整備の内容が見えた段階で、魅力発信を持続的に運営していく仕組みづくりを検討

常に考慮しながら、「まちづくり計画」としてとりまとめる段階で最終整理

民間の需要や市場性は常に考慮しつつ、ハード整備の内容が見えた段階で調査方法も含め検討

「交通結節機能再編」を具体化する際に、現状の課題として活かしていく。